

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2003-169793 (P2003-169793A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 17 日 (2003.6.17)
 【出願番号】特願 2001-373969 (P2001-373969)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 6/03

A 6 1 B 6/04

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 3 E

A 6 1 B 6/03 3 3 0 A

A 6 1 B 6/04 3 3 2 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 12 月 6 日 (2004.12.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体を搭載する天板を所定方向に移動させる移動手段と、予め設定された計測条件に基づいて移動速度及び移動方向を決定し、前記移動手段を制御して該決定された移動速度及び前記天板の水平移動を制御する天板制御手段と、前記天板制御手段から前記移動手段への制御出力の伝送路中に配置され、前記天板の移動を伴う操作入力に応じて前記伝送路を閉状態にすると共に、前記操作入力の終了から予め設定された時間の経過後に前記伝送路を開状態とする開閉手段とを備えた医用 X 線装置であって、前記天板の移動を指示するボタンあるいは X 線撮影中の天板の移動を許可するボタンと、ボタンの押下の解除を検出し該解除の検出から所定時間の経過後に移動手段から前記天板制御手段を遮断する手段を備えたことを特徴とする医用 X 線装置。

【請求項 2】

前記請求項 1 に記載の医用 X 線装置において、前記天板の移動を指示するボタンあるいは X 線撮影中の天板の移動を許可するボタンと、ボタンの押下の解除を検出し該解除の検出から所定時間の経過後に移動手段から前記天板制御手段を遮断する手段は、移動指示ボタンの備える第 1 の接点回路と、許可リレーの第 2 の接点回路とがディレイリレーのソレノイドに対して並列に接続され、前記第 1 の接点回路と第 2 の接点回路の何れかが閉じている場合に、前記ディレイリレーのソレノイドに電流が流れ、前記ディレイリレーの接点回路が閉じる構成となっていることを特徴とする医用 X 線装置。